

南砺ユネスコ協会

南砺ユネスコ

発行 南砺ユネスコ協会

南砺市福光5260

発行日 平成24年12月25日

平成24年度総会開催

「第6回なんと国際交流フェスティバル」、「国際交流フォーラム」同日開催



昨年7月5日に設立された南砺ユネスコ協会は、本年7月1日（日）12時30分、福光中央会館5階大ホールにおいて平成24年度総会を開催しました。

今回は、南砺市友好交流協会が主催する「第6回なんと国際交流フェスティバル」と（公財）とやま国際センターが主催する「国際交流フォーラム」に合わせた開催としました。

総会では、世界遺産が存在する南砺市ならではの事業も含めて提出した議案は満場一致で承認され、田中幹夫南砺市長、西井秀治南砺市議会議長からそれぞれ祝辞をいただきました。

その後、「国際交流フォーラム」が開催され、ダニエル・カール氏が「ふるさとの国際化～がんばっぺ、オラの大好きな日本～」と題した講演があり、日本に初めて来たときのことや※佐渡では警察に「逮捕された」？ことなど、また日本語の不思議さ等について山形弁を交え面白おかしく話され、会場全体に笑いを誘いながら、日本文化の魅力を訴えられました。

※《佐渡での出来事》

あぜ道を歩いていたら、農道にパトカーが止まり、おまわりさんが車から降りて手招きをする。「外国人登録証明書を見せてください」と言われた。外国人登録証明書を出せと言われたのは初めてだったんだ。お巡りさんが無線で延々としゃべっている。オラの顔を何んでも見て最後に「一緒に署にきてください」と言われた。パトカーのサイレンを鳴らしてライトも付けて！「オラ逮捕された？」と思った。警察署では署長さんからいろんな質問をされた。どうして私を呼んだんですかと尋ねたら、「ただ外国人が珍しいから会ってみただけなんです」と。「それなら最初からそう言ってよ」と思ったんですが、その後署長さんとは仲良くなり、帰りもパトカーで送ってもらいました。
(ダニエル・カール氏談)



当時（昭50年代）はまだ外国人が珍しかったんですね



ダニエル・カール氏



笑い声で包まれた会場

世界遺産菅沼合掌集落で茅場の下草刈りに参加！

世界遺産である合掌集落が、南砺市には「相倉集落」と「菅沼集落」の2カ所あります。

南砺ユネスコ協会が設立された理由の一つには、世界遺産として登録しているのはユネスコであることから、当協会として今年度は是非、合掌集落の保存のために貢献したいとの思いから参加することになりました。

7月26日の下草刈りに、南砺ユネスコからは、6名の参加でしたが、現地では、毎年参加されている「筑波大学生 コウリャク隊ツアー」として15名、地元集落のみなさん、行政関係の方々等30名が参集し、下草刈りが行われました。

作業を始める前に、「下草刈りの目的は真つすぐで良質なカヤを育てるためにあること」、「草を放置しておくと茅に巻きつきカヤが曲がること」等を地元の森林組合の方からお話を聞いて作業に入りました。

茅場は想像以上の急斜面に植えてあり、足場が安定しないため普段使わない筋肉の助けをかり、どうにか予定の作業を終えましたがなかなか大変な作業だと実感させられました。ただ、若い学生に混じっての作業でしたので少し元気をもらった気がします。

来年の作業には、多くの会員の方々の参加を期待しておりますとともに、歴史と伝統ある建物がいかに心ある多くの人たちの労力、汗の結晶により保存されているかを体感しました。



作業を終え、学生達と一緒に記念撮影(後が茅場)



緩斜面での作業、この後急斜面へ移動



地元森林組合の方のお話



菅沼合掌集落

中部西ブロックユネスコ活動研究会in氷見に参加 ～理事 図書健裕さん第二分科会で発表～



氷見市立朝日丘小学校6年生

2012年度中部西ブロックユネスコ活動研究会in氷見が10月27日～28日に《氷見いきいき元気館》で開催されました。

中部西ブロックは富山、石川、福井、岐阜、愛知、三重の6県で構成されています。毎年会場持ちまわりし、ユネスコ活動について情報交換を行っています。今回は富山県が当番で、氷見ユネスコ協会が主管となり大会の準備に取り組みされてきました。

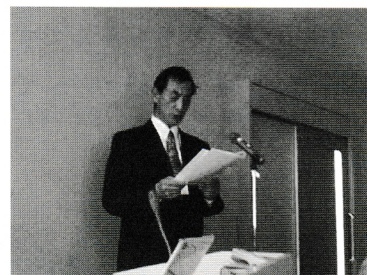
ほぼ一年に及ぶ準備と、当日の運営に当たられた氷見ユネスコ協会の皆さんに、心から感謝申し上げます。

南砺ユネスコ協会も初参加で、少しお手伝いをさせていただきましたが、特に、第2分科会の「世界遺産・地域遺産活動」に、当協会 図書健裕理事が「世界遺産相倉合掌造り集落を支援する諸活動」のテーマのもとに、スライドを交えて発表されました。住

民が住んでいる世界遺産として登録を受けたことから、五箇山らしい風景や文化を受け継いでいくことの大切さや、住み続けていく責任を課せられていることなどについての思いなど具体的に語られました。

第2分科会の発表者とテーマ

1. 「ウイズみえユネスコクラブ」・「三重大学ユネスコクラブ」
テーマ：世界遺産・熊野古道の保全と次代への継承
2. 石川県白山ユネスコクラブ
テーマ：絵画展とユネスコ絵画展
3. 南砺ユネスコ協会
テーマ：世界遺産相倉合掌集落造り集落を支援する諸活動



南砺ユネスコ協会 図書健裕理事

世界寺小屋運動と書きそんじハガキキャンペーン運動！！

(12月～3月)

世界寺子屋運動とは

「すべての人に教育を」という目標を達成しようとUNESCOの動きに呼応する活動として、1989年に始まった活動です。

**ユネスコ世界寺子屋運動って
なんでしょう？**

世界の人口は
約65億人

読み書き計算のできない人の数は
約7億9,600万人

学校に通えない子供の数は
約6,700万人

読み書き計算ができないと...

読み書き計算が
できない(非識字)

教育を受けられ
ない

貧困の
サイクル

収入が少ない

安定した職業に
つけない

読み書き計算のできない理由

たとえば...

学校があっても、(無料ではなく、)通う
お金がない。

または、働かなければならぬので行
けない。

たとえば...

近くに学校がない。

私たちに協力できること

1枚のハガキで買えるもの

書きそんじハガキ
1枚(45円)で

ネパールでは、鉛筆7本
ラオスでは、チョーク35本
アフガニスタンでは、ノート2冊
カンボジアでは、消しゴム2個
が買えます。

それはこんなことなのです

学習できる場所を作る

文字の読み書きとより良い生活の
ための知識、技術を指導する

裁縫などの収入を得るため
技術を指導する

先生や寺子屋を
運営する人を育てる

授業のための教材を作る

みんなに応援してもらいたいこと

読み書き計算のできない人、
学校に行けない人が
より良い生活ができるよう
学べる環境を作る！

私たちに協力できること

ハガキの支援によって学べるひと
カンボジアでは、
100枚(約4,500円)
で
一人が寺子屋で
識字クラスを
1年間学べます。

※9ヶ月コース

私たちに協力できること

ハガキによってできること
カンボジアでは、
**9,000枚
(約41万円)で**
机、イス、棚など
寺子屋の備品が
買えます。

私たちに協力できること

ハガキによってできること
カンボジアでは、
**55,000枚
(約250万円)で**
寺子屋1軒が
つくれます。

※建設費のみ

- 書きそんじハガキとは？・・・切手のついた未投函のハガキ(年賀ハガキ・一般のハガキ)で、書き間違えてしまった、印刷しすぎてしまった、余ってしまった、などの理由で使われていないもの。
- 書きそんじハガキ1枚が、学校にいけない子どもたちに教育の機会をあたえることができます。
- 回収箱・・・市内の小中学校、各行政センターに配置します。
ユネスコ協会会員の皆様もご協力ください。

ただいま編集集中！『世界に活躍した偉人』

(2013年3月発行予定)

編集方針： 小学高学年向けの副読本的な内容で編集
中学1・2年生向けの英語版も掲載



松村謙三

- ・生年月日
明治16年1月24日
- ・出身地
福光町新門



吉田鉄郎

- ・生年月日
明治27年5月18日
- ・出身地
福野(浦町)



稲塚権次郎

- ・生年月日
明治30年2月24日
- ・出身地
城端(能美村西明)

日中国交回復に力を尽くした政治家

日本の建築の美しさを世界に紹介した建築家

世界の食糧危機を救った農学博士

平成23年度事業報告

月日	内 容	場 所
5/28	日本ユネスコ全国大会 i n 富山参加	富山国際会議場
7/5	南砺ユネスコ協会設立総会	福光福祉会館
7/18	第8回平和の鐘を鳴らそう参加	二上山万葉ライン
7/30	加盟証書授与式	大手町サンスカイ
8/20	第1回平和の鐘を鳴らそう	瑞泉寺鐘楼堂
11/3	富山ユネスコ60周年記念式典出席	サンシップとやま
2/21	菅沼集落茅場再生勉強会	菅沼集落
3/11	東日本大震災子ども支援募金活動	ア・ミュー広場

理事会 2回 広報部会 2回

富山県ユネスコ協議会 4回

平成24年度事業計画

月日	内容	場所
6//11	偉人伝編集部会	福光福祉会館
7/1	総会	福光中央会館
7/1	国際フォーラム なんと国際交流フォーラム参加	福光中央会館
7/21	第9回平和の鐘を鳴らそう参加	二上山万葉ライン
7下	合掌集落茅場下草刈り	菅沼・相倉
8中	第2回平和の鐘を鳴らそう	南砺市内
8/29	偉人伝編集部会	福光福祉会館
9/15	日本ユネスコ全国大会 in 高松	香川県民ホール
10/27 28	中部西ブロック活動研究会 in 氷見	氷見いきいき元気館
10/6	第6回学生ユネスコ弁論大会	サンフォルテ
12中 ～3	書き損じハガキ回収キャンペーン	南砺市内
年間	理事会 3回 広報部会 3回 (新) 副読本「なんと偉人」の編集	

平成23年度収支決算

■収入の部

区分	決算額	備考
会費	475,000	正会員 105 人 賛助会員 16 社
雑収入	2,291	その他、利息
合計	477,291	

■支出の部

区分	決算額	備考
活動、事業費	41,620	設立総会、広報誌、のぼり旗
募金支出	30,000	全国高総文化祭、自閉症デー
事務費	67,210	消耗品費、通信費、使用料 印刷製本費、手数料
旅費	41,640	第25回評議員会旅費補助
支出合計	180,470	

繰越額 477,291 - 180,470 = 296,821

募金活動	東日本大地震子ども支援募金	68,188 円
------	---------------	----------

■収入の部 平成24年度収支予算

区分	予算額	備考
会費	478,000	個人 106 人 法人 16 社
補助金	20,000	県ニ協連
寄付金	500,000	
雑収入	179	利息他
前期繰越金	296,821	
収入合計	1,295,000	

■支出の部

区分	予算額	備考
活動事業費	706,000	総会、偉人伝、広報、平和の鐘 世界遺産
分担金	182,000	日ユ、県ユ、中部西ブ
活動支援金	50,000	日ユ高松大会、中部西ブ大会他
事務費	65,000	消耗品、通信費、使用料、印刷費
予備費	292,000	
支出合計	1,295,000	

編集後記

ようやく南砺ユネスコに相応しい事業活動の報告ができ一安堵しております。新年もよろしく。(笠野)

平成二十四年度	南砺ユネスコ協会役員	顧問	石井 隆一
同	田中 幹夫	会長	山辺 美嗣
副会長	片岸 博	同	石岡 敬夫
同	高山 博文	理事	今井 治
同	梅木 一男	同	大塚 保夫
同	笠原 恵正	同	西村 亮彦
同	片山 孝志	同	岩田 正
同	吉野 肇(新)	同	碓井 好彦(新)
同	藤田 栄(新)	同	青柳 初雄
同	図書 健裕	同	中島 慎一
同	中島 慎一	同	土生居 弘
同	土生居 弘	同	笠野 千尋
同	笠野 千尋	同	